

2027年国際園芸博覧会に出展する屋外庭園のデザインが決定!

◆ 大阪府・大阪市・堺市が共同で、みどり豊かで潤いのある「大都市・大阪」の魅力を世界に向けて発信するために出展する屋外庭園のデザインが決定

2027年国際園芸博覧会について

【期間】 令和9年3月19日～9月26日

【場所】 神奈川県 横浜市

【テーマ】 幸せを創る明日の風景

庭園の名称・コンセプト

庭園名称

いのちの輝き、水と緑がつなぐ大阪の庭

コンセプト

大阪・関西万博のテーマを横浜へと引き継ぎ訪れたすべての人が「来てよかった。明日も頑張ろう。」と思える多様な幸せ(ウェルビーイング)を実感できる場所



※デザインの一部を変更する場合があります。

庭園の特徴

- 花と緑、水で彩られた庭園を歩きながら、大阪・堺の「歴史・文化」や「にぎわい・活気」を体感できます!

各ゾーンのイメージ

①「水の庭」で大阪の活気を体感(エントランス)

- 水都大阪を象徴する堀(水盤)や石垣、噴水、イチョウが来園者を迎え、都市の「にぎわいと活気」を体感してもらう



②「時をたどる道」で大阪・堺の歴史に触れる(過去・現在)

- 茶筌をモチーフにした竹オブジェや、古墳をイメージした植栽を通じて、過去から現在へと続く時間の深みを感じてもらう



③「未来のゲート」でSociety 5.0を感じる(未来)

- Society 5.0が目指す「人間中心の社会」を象徴するゲートを設置し、内部のモニターに、大阪の未来イメージなどを提示



大阪・関西万博を想起させ、大阪の魅力を広く発信する取組

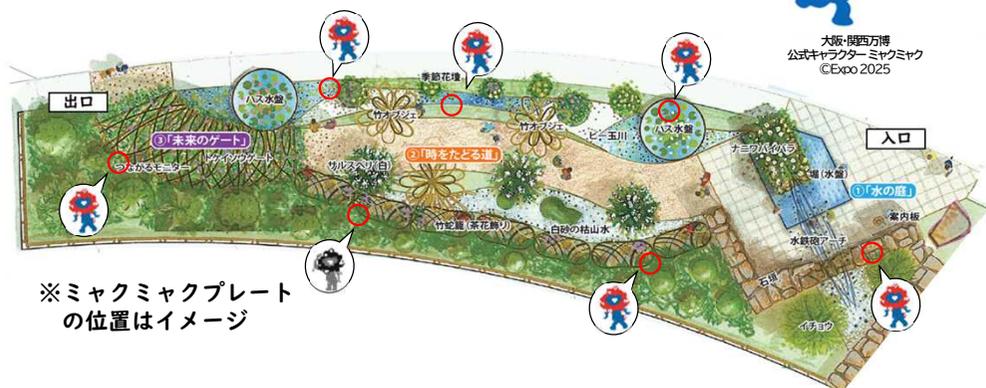
- ◆ 屋外庭園では、大阪・関西万博の活気などを想起させるとともに、多様な人・物・情報が集まり豊かな歴史文化を育ててきた大阪・堺の魅力を紹介する取組みを実施

隠れミyakumiyaku

庭園内に隠された小さなミyakumiyakuをプレートを探しながら庭園内を散策してもらう



大阪・関西万博
公式キャラクターミyakumiyaku
©Expo 2025



※ミyakumiyakuプレートの位置はイメージ

大屋根リングの木材リユースベンチ

大屋根リングをリユースしたベンチ等を設置し、万博レガシーの継承と資源循環の推進を図る



リユースベンチ



ベンチやスツールには、大屋根リングのリユース材から制作したことを表示

大坂城残念石

大坂城の石垣石材として運ばれてきたものの、使用されなかった石材、いわゆる「残念石」を展示



堺ブランド桜「与謝野晶子」

堺出身の歌人から名づけられ、堺ブランド桜「与謝野晶子」を使用（堺市が育苗し、平成30年に品種認定）



※今後、内容を変更する場合があります

園芸博において大阪・関西万博のレガシーと「大都市・大阪」の魅力を強く発信します！